

公益財団法人岡田文化財団 2022 年度事業報告

<事業の概要>

2022 年度は、前年に比べ新型コロナウイルス感染症の影響は減少し、ほぼすべての事業が計画どおり実施することができました。

「助成事業」では、公募助成の贈呈式(2022 年4月予定)はコロナ感染防止を踏まえ、昨年に関続き中止しました。助成対象事業の中止・縮小は、11件(助成総件数132件)でした。

「主催公演事業」については、予定どおり6公演を実施しました。5月、6月、9月の3公演は来場者数を制限しましたが、11月以降はほぼ定員で実施できました。

「美術館事業」では、企画展(年間7企画)及び記念講演会は計画どおり実施することができ、また、パラミタコンサートの再開もあり年間来館客数は約 42 千人(去年は約 30 千人)となり、新型コロナ前(2019 年度)の水準まで回復しています。収益事業としてのミュージアムショップは、入館者数が計画を上回ったこともあり、売上予算が達成できました。小ギャラリーは、16企画で延べ178日間の貸し出しを行いました。

「給付型奨学金事業(風樹会)」に関しては、40名を新たに認定しましたが、昨年に関続き今年度も認定式(2022 年4月予定)は実施できませんでした。

各事業の詳細は、以下のとおりです。

なお、新たな取り組みとして、さくらの名所づくりを目的とした「三重県さくらプロジェクト」を開始し、2023 年2月8日にはスタート式を行いました。2023 年から3か年で 5000 本の植樹を計画しています。

1. 助成事業

(1) 公募助成

	件数	金額(千円)
当初助成実績	132	70,230
中止又は縮小件数・返還金額	11	4,771
実施件数・事業執行金額	121	65,459

(2) 三重県物産展への助成

年間計画どおり6店舗で実施されました。(イオン札幌平岡、イオン福岡、イオンスタイルレイクタウン、イオン新瑞橋、イオンスタイル京都桂川)

助成金予定額 7,500 千円に対し、実績は 4,926 千円となりました。

(3) ユネスコ登録無形文化財への特定助成

桑名石取祭保存会 1,065 千円、富田鯨船保存会(未実施)

(4) 県の美術展及び9市への美術展覧会への助成

亀山市が1部門減りましたが、その他は予定どおりでした。

予算 2,900 千円 実績 2,850 千円

(5) その他助成

上記以外に、JR 亀山駅前ヤマトタケル・オトタチバナヒメ銅像建立費用として15,000 千円の助成を行いました。

また、当初年間計画には予定していませんでしたが、さくら名所づくりを目的とした「三重県さくらプロジェクト」のスタート式及び新聞広告費用として13,426 千円を計上しております。

助成事業 予算 114,633 千円 実績 109,714 千円 予算差額 △4,919 千円

2. 主催公演事業

2020 年度以来3年ぶりに再開しましたが、コロナ感染防止のため入場者数を制限して行い、(会場の定員に対し)5月及び6月は50%、9月は70%、11月からは100%で年間計画6公演とも実施できました。

<当初計画の公演>

NO	公演名	開催日	会場	費用(千円)	入場者(人)
1	由紀さおり・安田祥子 コンサート	5/6	四日市文化会館	8,179	720
2	清塚信也 With NHK 交響楽団	6/18	四日市文化会館	9,288	800
3	さだまさし With 三重ジュニア管弦楽団	9/18	三重県文化会館	11,300	1,050
4	フジコ・ヘミング & ブダ・ペスト・ フィルハーモニー管弦楽団	11/19	四日市文化会館	14,432	1,540
5	ウイーン・ヨハン・シュトラウス 管弦楽団ニューイヤーコンサート	2023. 1/5	四日市文化会館	10,141	1,500
6	NHK 交響楽団演奏会	2/18	四日市文化会館	17,427	1,590

主催公演事業 予算 73,140 千円 実績 70,767 千円 予算差額 △2,373 千円

3. 美術館事業

本年度は開館20周年にあたり、企画展の充実、講演会の継続実施やパラミタコンサートの再開を予定しました。また、ミュージアムショップの品揃えも見直しを行い、魅力ある美術館を目指しました。その結果、年間入館客数・入館料収入とも予算を達成することができました。

(1)パラミタミュージアム企画展

(人、%)

NO	企画展名	日程	客数予算	客数実績	予算比
1	平山郁夫 遥かな道	2022.4/2～6/5	10,000	12,080	120.8
2	第16回パラミタ陶芸大賞展	6/9～7/31	5,000	4,646	92.9
3	香川元太郎 迷路絵本展				
4	最後の浮世絵師月岡芳年	8/4～9/25	6,000	5,149	85.8
5	万葉日本画の世界展	9/30～11/27	7,000	4,780	68.3
6	シダネルとマルタン展	12/3～1/29	6,000	4,061	67.7
7	川瀬巴水展	2023.2/3～3/28	6,000	10,703	178.4

■2022年度年間入館者数・入館料収入

	予算	実績	予算比	2021年度
入館者数(人)	40,000	41,664	104.2%	29,831
入館料収入(千円)	32,000	32,430	101.3%	22,107

(2)パラミタミュージアム収益事業

(千円、%)

	予算	実績	予算比	2021年度
ミュージアムショップ売上	15,400	44,800	290.9	15,068
小ギャラリー貸室・販売	2,470	2,233	90.4	1,936

※ミュージアムショップ売上の実績には、平山郁夫展の複製画売上 22,490 千円を含んでいます。予算編成時点で、実施の有無が不明確であったため予算未計上でした。

(3)その他美術館の取組

① パラミタコンサート

3年ぶりに再開し、2023.1/15と3/5の2回実施しました。来館者増につながるイベントであり、今後は隔月で実施していきます。

② 企画展講演会

企画展ごとに6回実施し、延べ379名の方に聴講いただきました。

③ 収蔵作品貸出

平櫛田中作品1点、横山大観・川合玉堂・川端龍子合作作品等8点、斎藤まゆ作品1点、棟方志功作品2点 計12点の作品を貸出しました。

④ 2022年度新収蔵作品

故小嶋千鶴子氏より920点、150,046千円の寄贈を受けました。

美術館事業 予算 101,620 千円 実績 126,388 千円 予算差額 24,768 千円

※実績には、平山郁夫展の複製画販売分の仕入原価(予算未計上を含んでおり、これが予算差額に影響しています。

4. 風樹会(給付型奨学金)事業

(1)2023年3月31日現在認定者数 158名

2019年度 40名、2020年度 39名、2021年度 40名、2022年度 39名

(2)2023年度認定状況 認定者数 40名

風樹会事業 予算 99,110 千円 実績 96,607 千円 予算差額 △2,503 千円

■事業別予算・実績まとめ

各事業別の予算及び実績は以下のとおりです。

(千円)

事業名	予算	実績	差異
助成事業 公募助成	70,230	65,459	△4,771
特定助成 ユネスコ	2,150	1,065	△1,085
三フェア	7,500	4,926	△2,574
その他	25,000	16,110	△8,890
財団賞	2,900	2,850	△50
諸経費	6,853	19,304	12,451
(小計)	114,633	109,714	△4,919
主催公演事業	73,140	70,767	△2,373
美術館事業	101,620	126,388	24,768
風樹会事業	99,110	96,607	△2,503

※特定助成のその他は、主に「ヤマトケル・オトチバナヒメ銅像建立」への助成です。

また、助成事業の諸経費実績には、さくらプロジェクトに係る広告費用 13,567 千円を含んでいます。

5. その他

(1)イオン(株)株式の購入実績

予算 200,000 千円に対し、購入実績 199,448 千円となりました。

購入日	購入株数	1株当たり平均単価	購入額
5月18日	83,500株	2,388.6円	199,448千円

(2)イオン(株)株式の寄附受入れ

2023年3月8日付けで、岡田卓也氏よりイオン(株)株式 485,400 株の寄附を受
入れました。(時価評価額 1,264,952,400 円)

寄附受け入れ後の2023年3月末現在財団所有のイオン(株)株式数は、
21,947,300 株となりました。

以上の事業活動の結果、2022年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書の概要は以
下のとおりとなりました。

【貸借対照表】

(千円)

	当年度	前年度	増減
流動資産	370,330	401,619	△31,288
固定資産	60,669,051	59,923,451	745,599
資産合計	61,039,381	60,325,070	714,311
流動負債	43,457	24,368	19,089
固定負債	44,873	42,438	2,435
負債合計	88,331	66,806	21,524
指定正味財産	52,810,152	52,438,152	371,999
一般正味財産	8,140,898	7,820,111	320,786
正味財産合計	60,951,050	60,258,264	692,786
負債及び正味財産合計	61,039,381	60,325,070	714,311

【正味財産増減計算書】

(千円、%)

	実績	予算	予算比	前年	前年比
(一般正味財産増減の部)					
経常収益	850,904	819,870	103.8	806,791	105.5
経常費用	638,171	595,960	107.1	425,943	149.8
調整前当期経常増減額	212,732	223,910	95.0	380,848	55.9
基本財産評価損益	△41,992	0	—	△860,353	4.9
当期経常増減額	170,739	223,910	76.3	△479,505	-35.6
経常外収益	150,046	0	—	1,100	-
経常外費用	1	0	—	5,132	-
当期経常外増減額	150,046	0	—	△4,032	-
当期一般正味財産増減額	320,786	223,910	143.3	△483,537	-66.3
(指定正味財産増減の部)					
固定資産受贈益	1,264,952	0	—	0	—
基本財産評価損益等	△892,952	0	—	△13,846,056	6.4
当期指定正味財産増減額	371,999	0	—	△13,846,056	-2.7
正味財産期末残高	60,951,050	—	—	60,258,264	101.1